

はんぷくさいせい か のうがたびょう が
反復再生可能型 描画システム

Polka 1.4

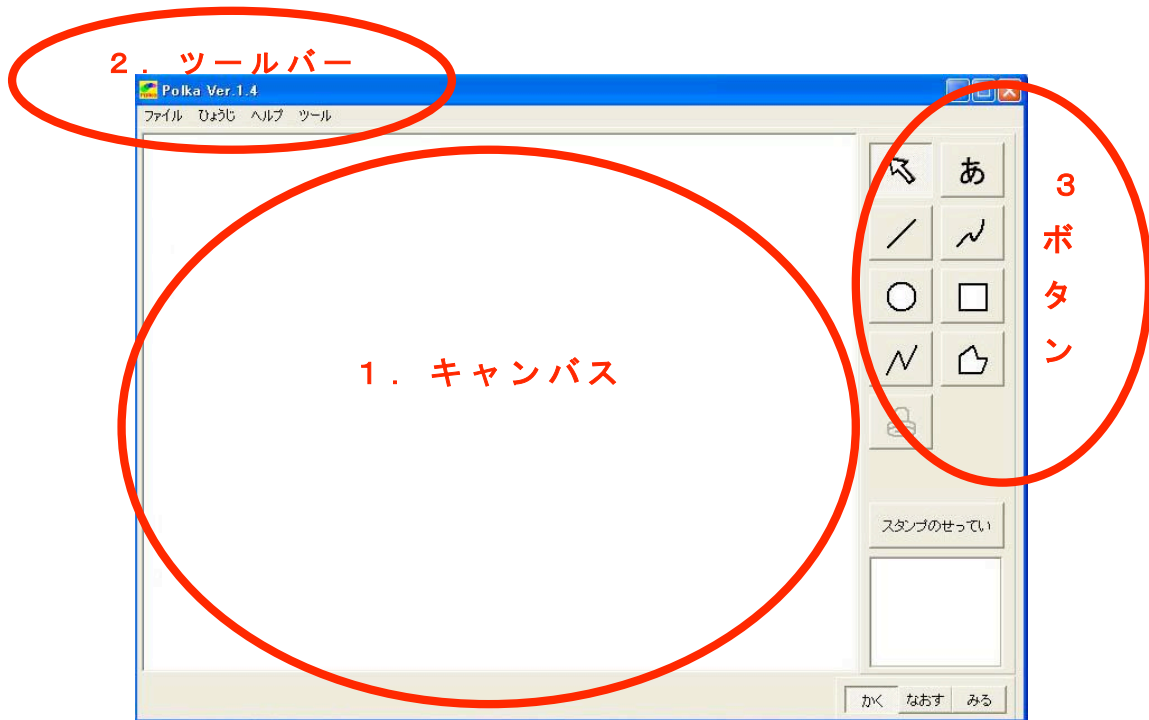
クイックマニュアル

—児童用—

Polka(ポルカ)について

Polka(ポルカ)は、かいた絵をかいた順番で動かすことができる仕組みをもったソフトウェアです。

Polka は、「かく」、「なおす」、「みる」の3つの画面からできています。はじめに、Polka の3つの画面すべてあるものの名前や特ちょうについて説明します。



1. キャンバス

Polka の画面の真ん中にある白いところを「キャンバス」といいます。ここに、絵をかいていきます。

2. ツールバー

Polka の上にあるところです。「ファイル」、「ひょうじ」、「ヘルプ」、「ツール」の4つがあります。

○「ファイル」

「ファイル」は、絵を記録して残す（ほぞん）ときやソフトウェアを終わるときに使います。

○「ひょうじ」

「ひょうじ」は、キャンバスに「はいけい」を入れたり、「はいけい」を消したりするときに使います。

○「ヘルプ」

「ヘルプ」は、Polka を使っていて困ったときに使います。

○「ツール」

「ツール」は、かいた絵を調べたり、かいた絵をほかのソフトウェアに移したりするときに使います。

3. ボタン

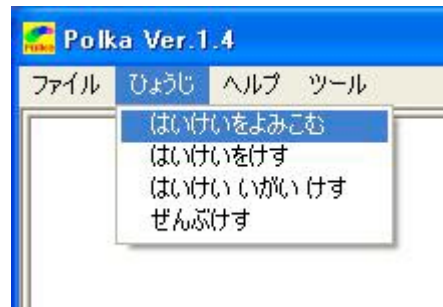
このボタンを使うと、図形をかいたり、かいた図形の色や形をかえたり、いろいろなことができます。3つの画面に、それぞれちがうボタンがあるので、わからないときは、クイックマニュアルを見てください。

はじめるとき

1. はいけいをよみこむ

上のところにある「ひょうじ」をおします。

すると4つの文がでてきますので、その中から、「はいけいをよみこむ」とかいてあるところをおします。



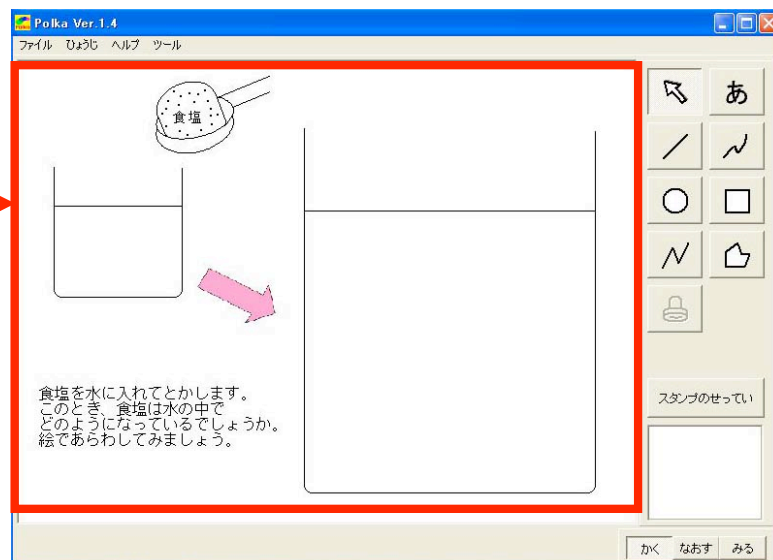
2. はいけいを入れる

白く大きな部分（キャンバス）のところに絵がでてきます。

これが「はいけい」になります。この絵は、絵をかいているときに消えたりすることはありません。

はいけいを消すときは、「ひょうじ」の中の「はいけいをけす」をおします。すると、はいけいが全部消えます。

キャンバスに
「はいけい」
が入ったところ

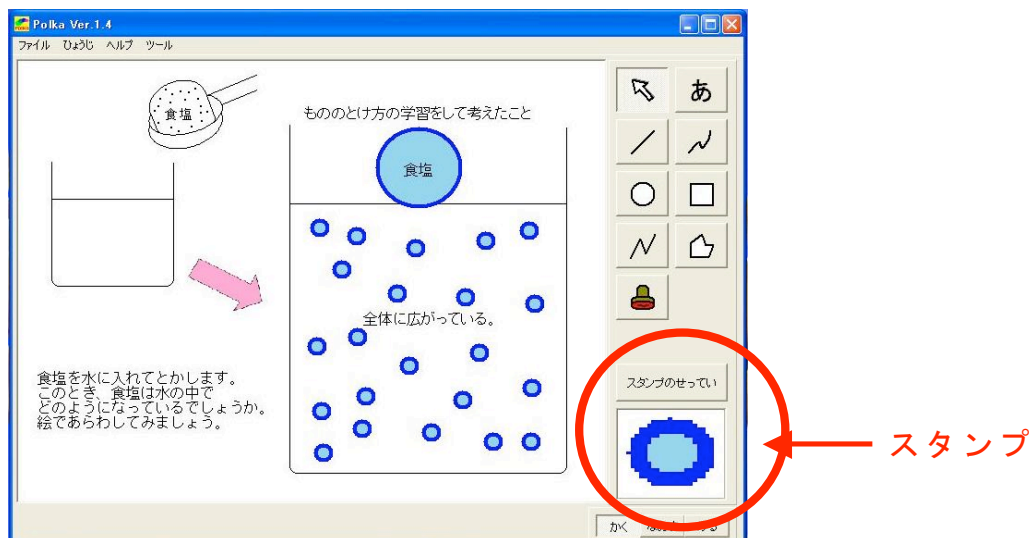


3. 絵をかく

キャンバスの中に、絵をかいていきます。

かく

「かく」の画面では、絵をかくことができるようになっています。



1. ボタンの説明

ボタンをおして、キャンパスにかいていきます。

ボタン	できること	ボタン	できること
	このボタンで図形をえらぶと「なおす」の画面になり、色・大きさ・太さをかえることができます。また、図形をえらんだまま矢印のマークを動かすと、図形を移動することもできます。		ボタンをおして、キャンパスの上でクリックすると文字をかくことができます。ただし、文を1行より多くすることはできません。
	直線にかくことができます。		曲がった線など自由に線をかくことができます。
	円にかくことができます。		四角形をかくことができます。
	折れ線にかくことができます。かき終わるときは、2回クリックします。		多角形をかくことができます。かき終わるときは、2回クリックします。
	スタンプが作られていないときのボタンです。		スタンプが作られているときのボタンです。

2. スタンプを作る

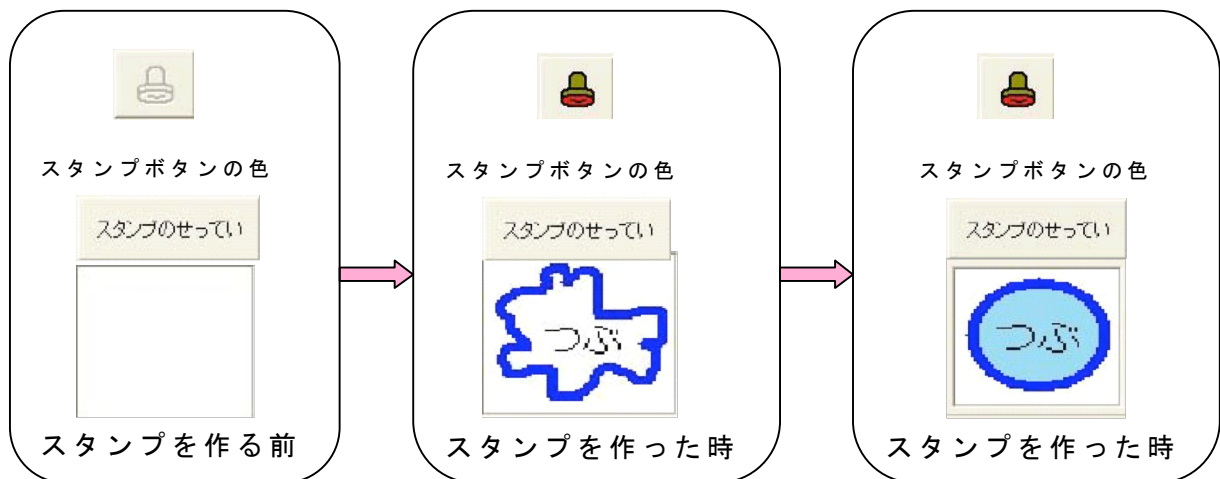
1)「スタンプ」とは

同じ絵をたくさんかきたいときに使います。自分がかいた絵をもとにスタンプを作って、スタンプを押すように何度も同じ絵をキャンバスにかくようにした仕組みのことです。

2)スタンプの作り方

「スタンプのせってい」をおして、スタンプにしたい絵をマウスで点線を引っ張りながら（ドラッグ）かこみます。すると、点線でかこんだ絵が「スタンプまど」に出てきます。これで、スタンプをおすじゅんびができました。

次のスタンプを作ると、前のスタンプは消えて、新しいスタンプができます。



3)スタンプの押し方

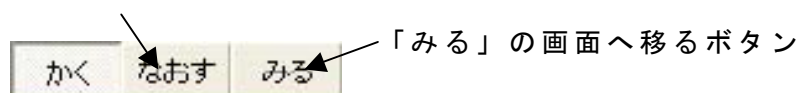
スタンプボタンの色がかわったら、スタンプができます。

まず、スタンプボタンをおして、その次にキャンバスの上のスタンプをおしたいところにマウスを動かして、クリックします。すると、スタンプまどにあった絵が、クリックした数だけあらわれてきます。

3. ほかの画面に移りたいとき

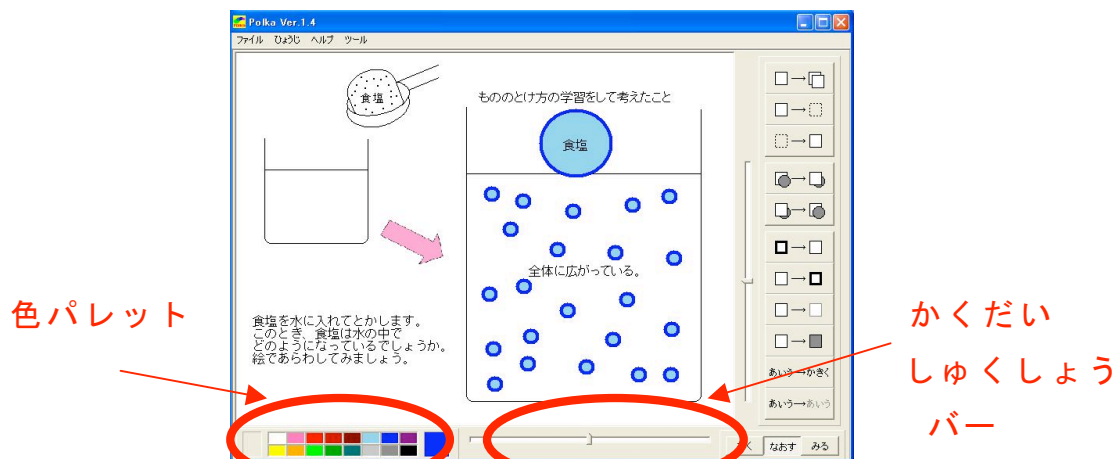
「かく」では、図形の色や形をかえたり、かいたものをふり返ったりすることができません。そのときは、「なおす」のボタンを押して「なおす」の画面に移ったり、「みる」のボタンを押して「みる」の画面に移ったりします。

「なおす」の画面へ移るボタン



なおす

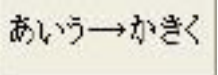
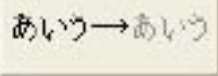
「なおす」の画面では、色・大きさ・太さをかえたり、図形を増やしたり消したり、前に出したりうしろに下げたり、図形の色や形をかえることができます。



1. ボタンや色パレット、かくだいしゅくしょうバーの説明

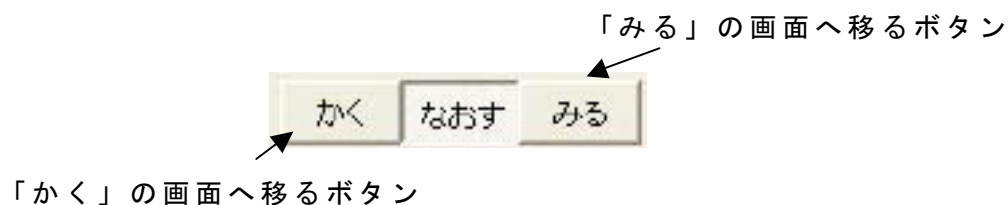
ボタンは、かえたい図形や文字をえらんでクリックしたあと、おします。

ボタン	できること
	えらんだ図形をふやすことができます。クリックした数だけ右下にふえていきます。
	えらんだ図形を消すことができます。
	消してしまった図形がもう一度あらわれます。おした数だけ前に消した図形があらわれます。
	えらんだ図形をうしろに下げることができます。クリックした数だけうしろに下がっていきます。
	えらんだ図形を前に出すことができます。クリックした数だけ前にだすことができます。
	図形の線を太くすることができます。クリックした数だけ線が太くなっていきます。
	図形の線を細くすることができます。クリックした数だけ線が細くなっていきます。
	図形の中に色をぬります。パレットで色をえらんだあと、図形をおしてこのボタンをおします。
	図形の線の色をかえます。パレットで色をえらんだあと、図形をおしてこのボタンをおします。

	文字を書き直すことができます。書き直したい文字をえらんで、このボタンをおします。
	文字の色をかえることができます。色をかえたい文字をえらんで、このボタンをおします。
 かくだいしゅくしょうバー	図形や文字を大きくしたり小さくしたりします。スタンプでおした図形も大きくしたり小さくしたりできます。
 ぬりつぶしなし 色パレット まど	色をえらぶことができます。えらんだ色は、左のまどに出ってきます。

2. ほかの画面に移りたいとき

「なおす」では、絵をかいたり、かいたものをふり返ったりすることができません。そのときは、「かく」のボタンを押して「かく」の画面に移ったり、「みる」のボタンを押して「みる」の画面に移ったりします。



3. 注意すること

1)スタンプでつくった図形について

スタンプを作るときに「もとにした絵」は、「スタンプでおした絵」のようなひとつのかたまりになっていないので、次のようなちがひがあります。

- 「スタンプした絵」は、大きさをかえることができますが、「もとにした絵」は、作られた図形それぞれの大きさなどがかわります。
- 「もとにした絵」は、色をかえることができますが、「スタンプでおした絵」は色をかえることができません。

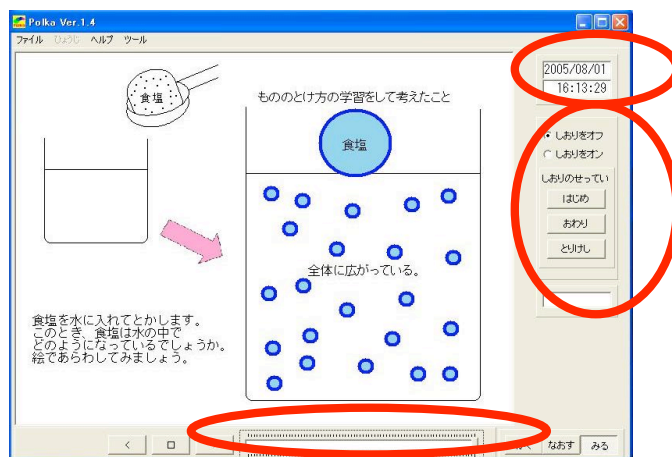
2)直線や曲がった線でかこんだ図形について

線でかこんでできた図形は線の色や大きさをかえることはできますが、中に色をぬったり、四角形や多角形として大きさをかえたりすることはできません。

みる

「みる」の画面では、かいたものをふり返ることができます。絵が、かいたりなおしたりしたとおりに動くので、かいていった順番がよくわかります。

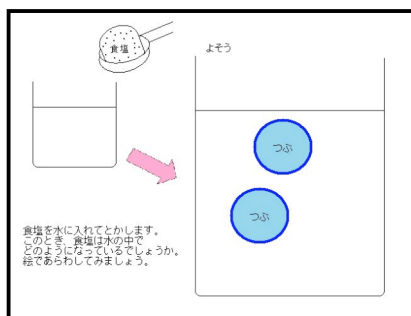
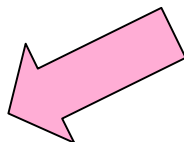
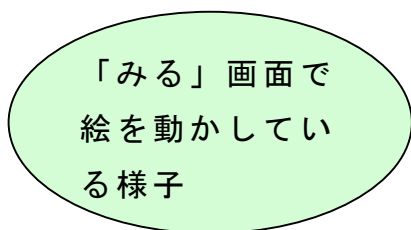
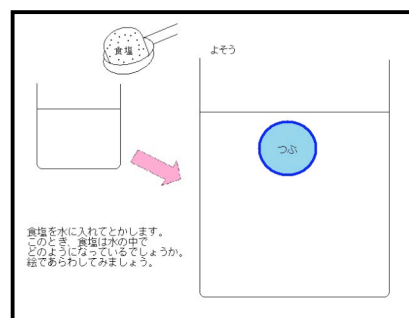
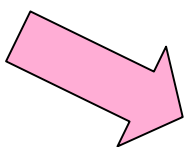
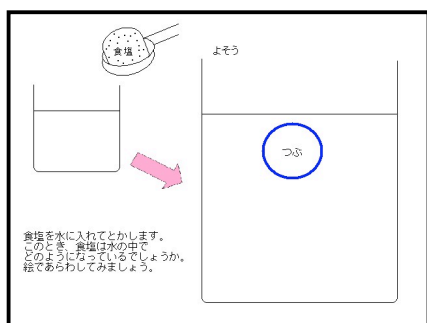
ここでは、かいた順番とは反対に見ていくこともできます。また、もどったところからかき直すこともできます。このとき、「みる」の画面でもどってかき直したこともこれまでの記録とあわせて残するという仕組みがあります。



日時

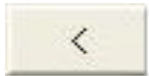
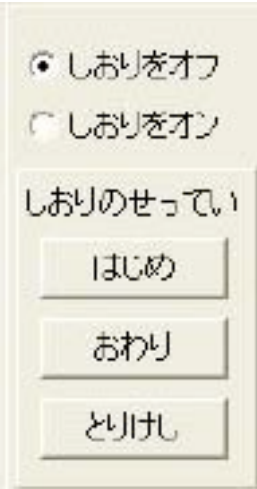
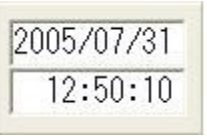
しおり機能

さいせいバー



1. ボタンやさいせいバーの説明

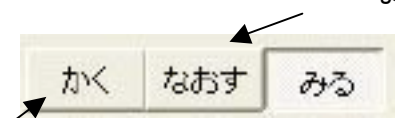
ボタンをクリックしたり、バーを左右に動かして使います。

	かいた順番とは反対に進めることができます。	 しおりを<u>オフ</u> →しおりが使えない状態 しおりを<u>オン</u> →しおりが使える状態
	一番はじめのところにまでどるることができます。	
	かいた順番どおりに進めることができます。	
	絵をかいた日にちや時刻がでてきます。	
 バーを使って見たいところまで動かすことができます。		しおり機能を使える状態にしたり、しおりのせつていをしたりすることができます。

2. ほかの画面に移りたいとき

「みる」では、絵をかいたり、かいた図形の色や形をかえたりすることができません。そのときは、「かく」のボタンを押して「かく」の画面に移ったり、「みる」のボタンを押して「みる」の画面に移ったりします。

「なおす」の画面へ移るボタン



「かく」の画面へ移るボタン

3. しおり機能

1) しおり機能とは

「しおり機能」とは、本にしおりをはさんでいくように、自分が見たいところに「はじめ」と「おわり」の印をつけていって、見たいところや見たいはんいだけを見ることができるようにする仕組みのことです。

また、しおりはいくつもつけることができるので、いらないところはとばして見ることもできます。

2) 「しおり機能」の使い方

- (1)「しおりをオフ」に黒い丸がきていることを確かめます。
- (2)さいせいバーやさいせいボタンを使ってしおりをつけたいところまで絵を動かします。
- (3)「しおりのせってい」の「はじめ」のボタンをおします。
- (4)下のまどのところに、「はじめ（かり）」という文字がでてきます。



- (5)見たいはんいの最後のところまで、さいせいバーやさいせいボタンなどを使ってあわせます。

- (6)「しおりのせってい」の「おわり」のボタンをおします。

- (7)下のまどのところに、「おわり」という文字がでてきます。文字の出るまど

- (8)まだしおりをつけたいときは、(2)から(7)をくり返していききます。

- (9)しおりをつけ終わったら、「しおりをオン」にします。

- (10)再生ボタンをおすと、「はじめ」をつけたところからはじまります。

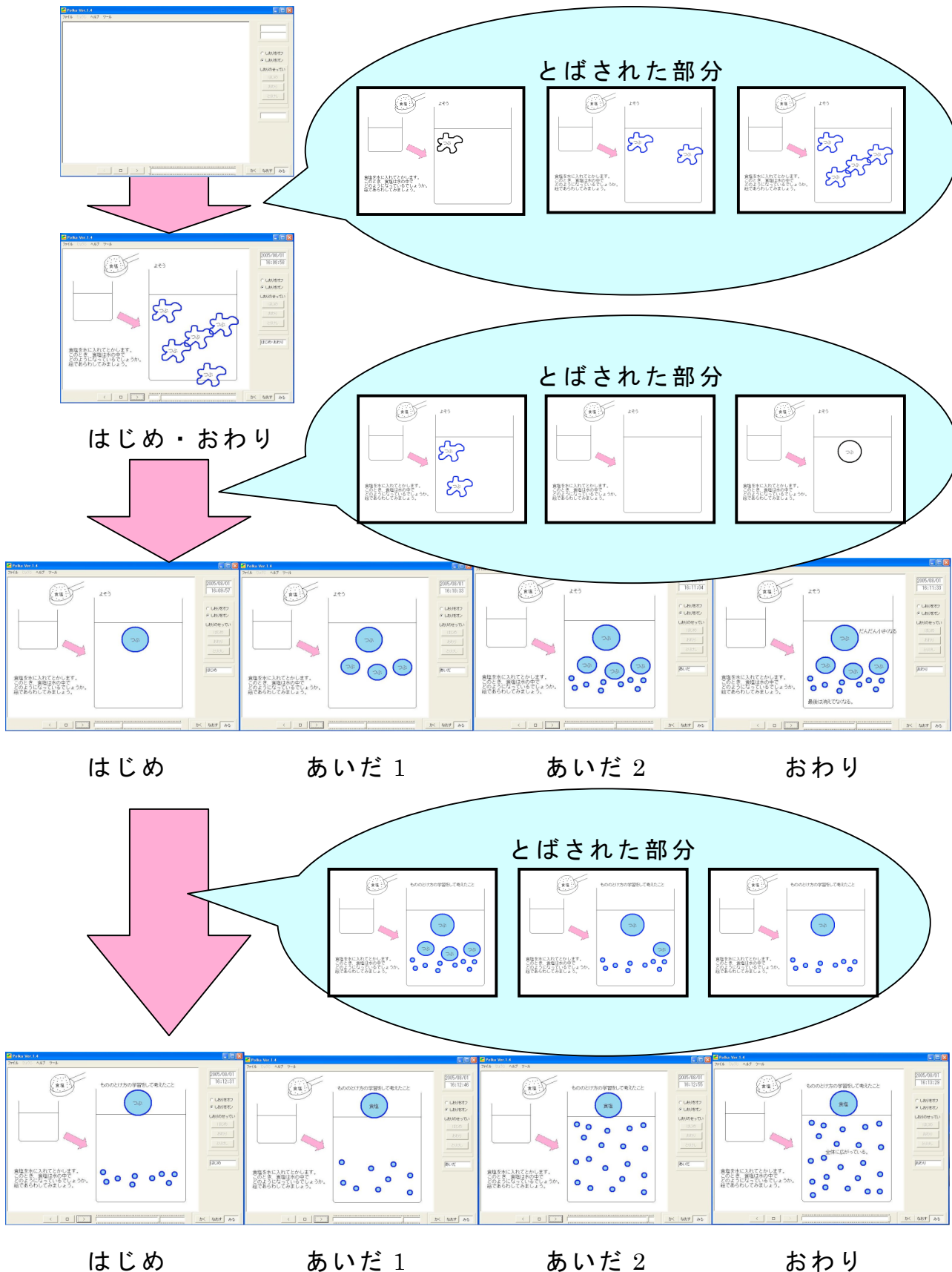
3) 「とりけし」のつけかた

「おわり」をつけていないときは、「はじめ（かり）」のしおりをはずすことができます。

「はじめ」も「おわり」もつけているときは、下のまどに「あいだ」とでているときに「とりけし」をおすと、そのはんいのしおりをはずすことができます。

4)「しおり機能」を使った例

しおり機能を使って絵がさいせいボタンをおすたびに流れる様子をあらわします。



キャンバスの中の絵の消し方

キャンバスの中にかいた絵の消し方は3つあります。ここに、消し方をしょうかいします。

1. 「はいけい」を消したいとき

- 1) 上のところにある「ひょうじ」をおします。
すると、4つの文がでてきます。
- 2) 「はいけいをけす」をおすと、はいけいが消えます。



2. 「はいけい」いがいの絵を消したいとき

- 1) 上のところにある「ひょうじ」をおします。すると、4つの文がでてきます。
- 2) 「はいけい いがい をけす」をおすと、「はいけい」だけが残って、中にかいていた絵は全部消えます。しかし、消す前のことは記録として残っているの
で、「みる」画面で見ることができます。

3. 「ぜんぶけす」とき

- 1) 上のところにある「ひょうじ」をおします。すると、4つの文がでてきます。
- 2) 「ぜんぶけす」をおすと、「はいけい」もかいていた絵も全部消えます。しかし、消す前のことは記録として残っているの、消した絵も「みる」画面で見ることができます。

ほぞんのしかた

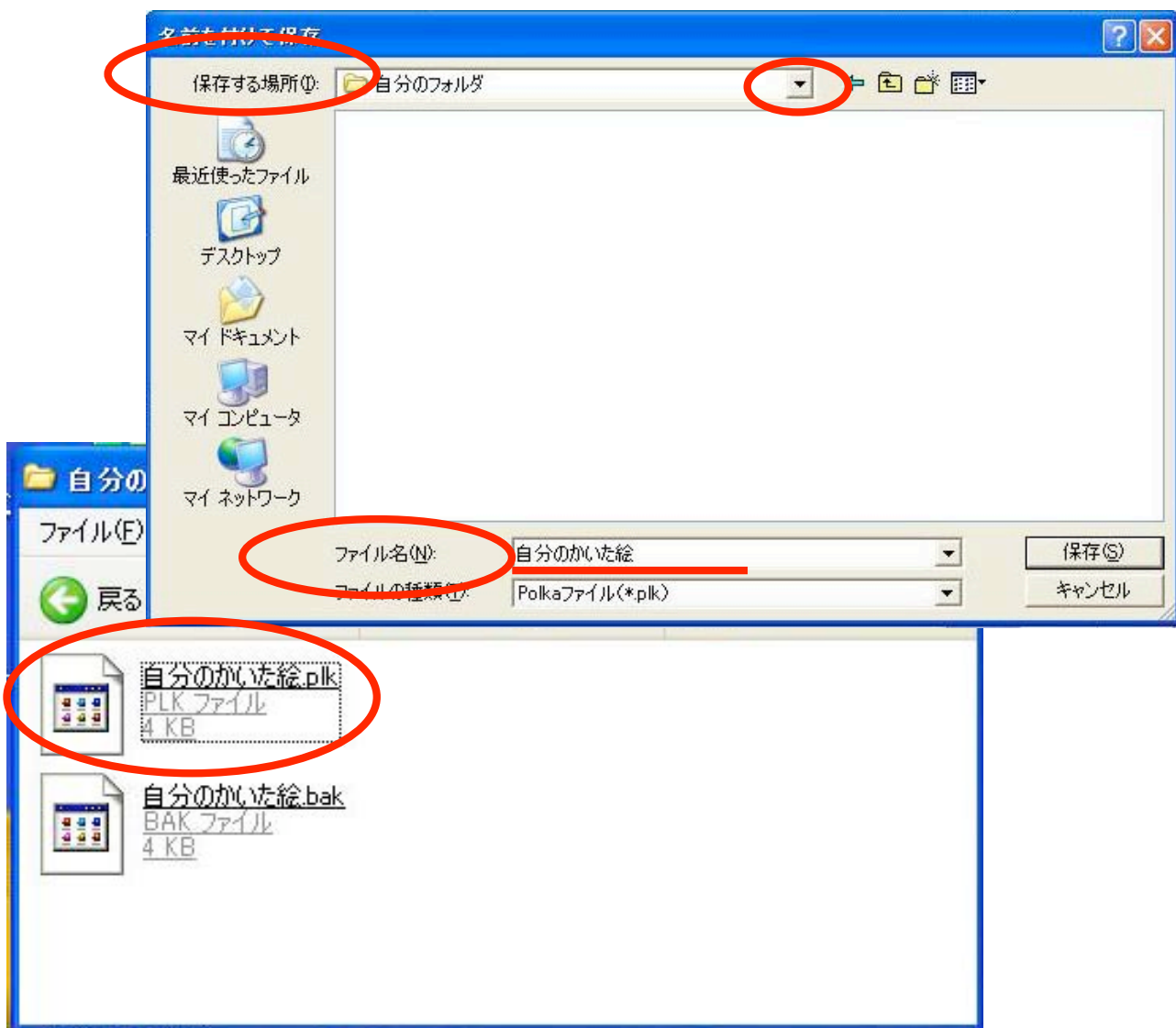
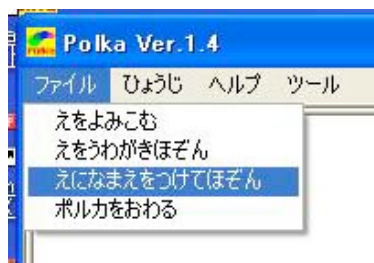
かくのをやめたいときや、かいた絵を残しておきたいときは、ほぞんをします。ここでは、ほぞんの仕方をしょうかいします。

1. 新しく絵を残したいとき

1) 上のところにある「ファイル」というところをおします。

2) 4つの文が出てきます。「えになまえをつけてほぞん」をえらんでおします。

3) 「保存する場所」をえらんだあと、ファイル名のところに題名をつけて、「保存」をおします。すると、新しいファイルができて、記録が残ります。



2. これまでの絵に、かいた絵をつけ加えて残しておきたいとき

1)上のところにある「ファイル」というところをおします。

2)4つの文が出てきます。「えをうわがきほぞん」をえらんでおします。

3)「うわがきほぞんしました」が出てくるので、
「OK」をおすと、つけ加えてかいた絵も記録に残ります。



終わり方・続きの絵をかくとき

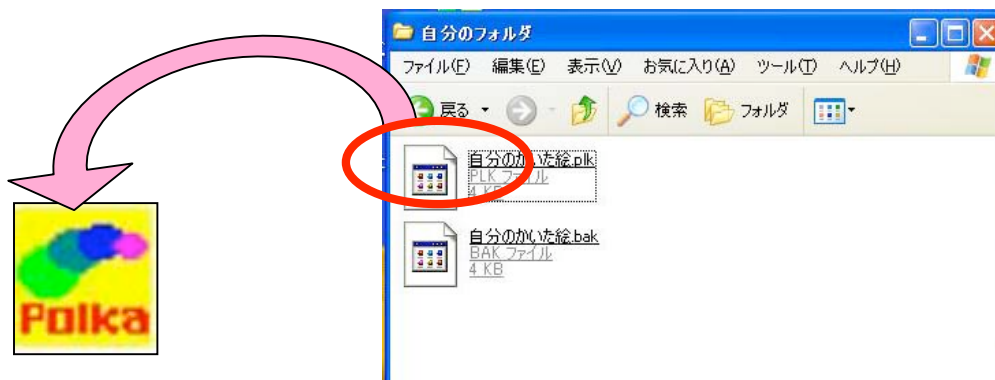
1. 終わり方

- 1)上のところにある「ファイル」というところをおします。
- 2)4つの文が出てきます。「Polkaをおわる」をえらんでおします。
- 3)「Polkaをおわる前にうわがきほぞんしますか？」とでてきます。
「はい」をおすと、うわがきほぞんができます。



2. ほぞんしておいた絵の続きかくとき

- 1)ほぞんをして作ったファイルを見つけます。
- 2)ファイルをマウスで、Polka とかいてある絵（アイコン）ところにもっていき重ねます。



- 3)Polka が開くのと同時に、キャンバスのところにほぞんしたときの絵がでてきます。
- 4)絵をかき続けることができます。このとき、かいた順番などは、前の記録とあわせて残ります。